



歩く博物館

富士宮市は、数多くの文化財が点在する歴史のまちです。まちの魅力的なスポットを訪ね歩き、身近に見て・触れて・感じてみませんか。

国指定文化財

おお しか くぼ い せき

大鹿窪遺跡

～日本最古の縄文集落～

大鹿窪遺跡は、約13,000～11,000年前の縄文時代の遺跡で、15の竪穴住居(土を掘りこんでつくった家)の跡や、土器・石器がたくさん発見されています。

洞くつや岩陰で生活していた人々が、開けた平地で長く暮らすようになった頃の様子が見られる貴重な遺跡です。

このような遺跡は全国でもとても珍しく、竪穴住居の集落としては日本で最も古いものとなっています。



当時の人々は、西側を流れる芝川の川魚、鹿やイノシシ、森の木の実などの自然の恵みを受けて生活していたと考えられています。



現在は、保護のため埋め戻されています。

歩く博物館 Tコース<下柚野・大鹿窪地区>
柚野の里をめぐる南コース

市役所6階文化課、郷土資料館(文化会館内)、芝川公民館、埋蔵文化財センターまたは市公式ウェブサイト
で配布しています。

史跡を紹介するパンフレットもあります。

HP [トップページ](#)>[市民の皆さんへ](#)>教育・文化・スポーツ>[郷土資料館](#)>歩く博物館



問 埋蔵文化財センター(長貫747-1) ☎65-5151 FAX 65-2933